

にしっこ 西っ子みなさんへ 135 2月7日

グラウンドの西の方に、土の山ができています。犯人は「モグラ」です。
モグラが作った土の山を「モグラ塚」と呼ぶそうです。
今まで勤めた学校ではこのような被害はなかったので、始めは誰かのいたずらかと思ったのですが、よくよく見ると周りの地面が凹んでいないので、土の中の生物の仕業だということが分かりました。
地域の方に尋ねたところ、西小校区にはたくさんのモグラがいるようで、田畑でも同様の被害が出ているそうです。

日本には、数種類のモグラが生息していますが、西日本にはコウベモグラ、東日本にはアズマモグラが多く分布しています。

モグラは12～18センチくらい大きさと、色は濃い褐色か黒褐色で、手足と鼻がピンク色をしているものが多いそうです。
前足が土をかき分けやすいように大きく発達し、シャベル状になった爪がついています。地面より30cm～1mの深さのところに穴やトンネルを掘って生活しています。



モグラは肉食で、ミミズや昆虫またはその幼虫、カエルなどをえさとして捕食し生活しています。

中庭につくった「ダイコン」が何者かに食べられていることがあります。モグラの仕業かとも考えましたが、モグラは先ほど書いたように肉食なのでダイコンは食べません。したがって、モグラが掘ったトンネルや穴に入り込んだネズミなどが犯人かもしれません。

昨年、モグラが嫌う音を出す機械を、穴の中に入れてみたのですが、どうもすぐに慣れてしまうようで効き目がありませんでした。

モグラを無許可で捕獲することは、「鳥獣保護法」という法律で禁止されているので、捕獲機等を使って捕獲する場合は、野生鳥獣保護窓口、または市町村の害獣対策課に連絡する必要があります。許可を受けて捕獲するにしても、モグラは、エサを半日ほど食べれないと死んでしまうので、捕獲したら、直ぐに山の奥などに運んで逃がしてやらないといけません。

対策として、モグラの天敵に頑張ってもらえると嬉しいのですが、モグラの天敵は、イタチ、猫、タカ・ワシ・フクロウなどの猛禽類です。しかし、猛禽類と呼ばれる鳥たちをこの辺りで見かけることはないので、天敵たちを当てにすることも難しそうです。天敵がいらないから増えているともいえるわけです。

グラウンドで活動する時、特に西の方は地面が凸凹しているので、転んでケガをしないように気を付けてください。